

社団法人日本新体操連盟

平成16年度第2回総会議事録

1. 開催日時： 平成17年3月24日（木） 11時00分～11時45分
2. 開催場所： 東京都港区西麻布3-2-32 「麻布霞会館」
3. 会員総数： 415名
4. 出席会員数： 274名（うち委任状出席256名）
5. 決議事項：
 - 1、平成17年度・事業計画について（定款・第29条関連事項）
 - 2、平成17年度・収支予算について（定款・第29条関連事項）
 - 3、平成17・18年度・役員改選について（定款・第12条関連事項）
 - 4、その他
6. 議事の経過及び結果
 - (1) (社)日本新体操連盟・定款第28条の定めにより議長を会長二木英徳が勤めた。
 - (2) 議長は議事録署名人を荒井隆専務理事と橋本千波理事にする事を議場に諮り承認された。
 - (3) 石崎朔子常務理事より総会出席者数委任状含めて274名であることが告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。
 - (4) 渡辺守成常務理事より下記事業計画の説明を行い承認可決された。
 - 1、年度事業計画の説明。
 - 2、「全日本新体操クラブ選手権」の参加年齢について
今年より、国際体操連盟のジュニア年齢区分が「12歳～14歳」から「12歳～15歳」へと変更。シニアが「15歳以上」であったのが「16歳以上」へと変更。しかし国内はこれまで通り、ジュニアが「12歳～14歳」、シニアが「15歳以上」のままとなっている。
「全日本新体操クラブ選手権」は2つの大会への出場権を賭けた予選を兼ねている。
ひとつは、国内基準の「全日本選手権」への出場権と、もうひとつは世界基準の世界新体操クラブ選手権である。
大会は国内基準の年齢区分を適応するが、「世界クラブ選手権」の出場権を賭けた予選については世界基準の年齢区分をする。
 - 3、「全日本新体操クラブ団体選手権」の優勝チームには「全日本新体操選手権」への出場権を与えられる。
今年11月に開催される「全日本新体操選手権」より前日程とするため、団体選手権は9月11日の日曜日に千葉県「千葉ポートアリーナ」にて開催される。例年より日程が早まったので注意のこと。
また、事前資料の競技種目をシニア（リボン 5）、ジュニア（ボール 5）に訂正。
 - 4、「世界新体操クラブ選手権」は今までの帯同審判から国際体操連盟からのオフィシャルジャッジ派遣と成る。

- 5、「日本新体操祭」、「全日本新体操チャイルド選手権」、「全日本キッズコンテスト」は、入場の際の危険行為と、所属クラブによる不当な席取り等への苦情が多いため、座席指定制度化の導入（チケットぴあにてチケット販売）を決定。
「全日本クラブ選手権」、「全日本クラブ団体選手権」につきましては、当面の座席指定制度の導入は見合わせる。
 - 6、「全日本新体操チャイルド選手権」「全日本新体操キッズコンテスト」の開催主旨は、年少時に「美しい姿勢」や「美しい動き」を習得にあるため、ルール改正を検討中。基本的な内容変更はないが難度に関する変更が成される予定。
6月末までには、詳細を決定しご案内。
 - 7、今年度では審判育成セミナーを重要。競技会での審判業務充実のため価値基準の統一など各大会における実務教育の徹底を図る。
海外セミナーのスケジュールは未定。変更の可能性大。
 - 8、本年度より、従来「指導者育成セミナー」の見直しを図ると同時に、「選手」「指導者」の認定制度と「審判員」の研修制度を導入。採点競技スポーツの問題解決をはかるため、「選手」と「指導者」、そして「審判員」の三者が同じ価値観を持てる三位一体方針のもと、現行の「指導者育成セミナー」を「指導者認定制度」に切り替えると同時に、選手のバッジテストを導入し、これらの認定制度と審判員の研修制度をリンクさせることを検討中。本制度の導入は、本年のオフ期である12月からを予定。詳細は検討中だが、内容は決定次第、逐次皆様にご案内する。
- (5) 総会参加者より下記内容の質問がされ確認した。
- 1、チャイルド選手権の日程が平日にかかり、参加者より不満の声がある祭日や休日を有効利用して欲しい。
〔回答〕長期休暇中に実施することは、新体操界全体の現在のスケジュールでは不可能。「チャイルド」と「キッズ」を分割開催する方法も見据え、今後検討していく。
 - 2、「日本新体操祭」、「チャイルド選手権」の座席指定制度導入は賛成だが、選手・役員席を設定して欲しい。
〔回答〕選手・役員席を設定は可能だが、席取りの問題がある以上、座席は指定するしかない。検討する。
- (6) 荒井隆専務理事より平成17年度収支予算の説明を行い承認可決された。

(7) 福本隆常務理事より平成 17・18 年度役員案について説明され以下のよう決定した。

理事	二木 英徳	イオン（株）・名誉相談役
	高橋 明	博報堂健康保険組合理事長・博報堂厚生年金基金理事長
	朝倉 正昭	国土舘大学・教授
	秋山エリカ	東京女子体育大学・助教授
	荒井 隆	日立製作所健康保険組合連合支部・常務理事
	池田真喜子	連盟事務総長
	石崎 朔子	日本女子体育大学・教授
	岩本 晃	（株）博報堂・営業局長代理
	上村 郁代	折尾女子学園高校・教諭（西日本）
	岡 久留実	イオン（株）新体操クラブコーチ
	佐藤 昌子	ウーマンズ新体操クラブコーチ
	関田史保子	東京女子体育大学・教授
	崇島 慎一	共同通信社・運動部記者
	谷口 裕代	プリティーコスモス&谷口R・G・代表
	谷原 誠	みらい弁護士事務所・弁護士
	橋本 千波	PEGASUS・代表
	福本 隆	日本テレビエンタープライズ（株）・取締役
	藤島八重子	ふじしま新体操クラブ・代表
	山崎 浩子	（有）アインス・社長、スポーツジャーナリスト
	渡辺 守成	イオン（株）新体操クラブ代表
監事	横田 章	東洋大学・事務局員
	田中 元	田中税理士事務所 所長
名誉顧問	岸田 文雄	衆議院議員

(8) その他については以下の事が質問された。

[質問&意見 1]

ジュニア用の新体操手具が無く、ジュニア選手の育成に障害に成っている
ので改善をはかって欲しい。

[回 答] 既に本連盟理事会においても議論され、既に（財）日本体操協会
総務委員会に提案と業者（チャコット）に販売依頼を行っている。

[質問&意見 2]

連盟のホームページの更新が少ない。情報量が少ない。

[回 答] 早急に改善をはかる。

(9) 議長は議場に諮り総会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成 17 年 3 月 24 日

社団法人 日本新体操連盟 平成 15 年度 総会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 荒 井 隆

同 橋 本 千 波